

QI+5 クイックスタート

QI + 5 は、Adobe Acrobat 上で PDF 書類を表示しながら、面付け作業を行います。裁ち落とし・天地の反転・トンボ・ドブ幅・台紙の大きさ・面付けの種類（8 面付け・16 面付け）等に必要な設定を行い、面付け作業を簡単に進めて行く事ができます。

面付けの為に

ページ面付けを行う前に基本的な折丁を作成しておきます。

クイックスタートでは、4 つ折右開き 8P（平綴じ）を使用して作業を進めます。

A4 サイズの紙を用意し手前に長辺を置き、時計回りに回しながら折って行きます。

折の回数によって、2 つ折り、4 つ折り、8 つ折り、16 折り、に分けられます。

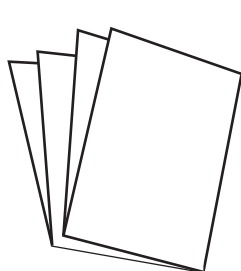
原則として、右開き（タテ組）は奇数ページが左になります。

左開き（ヨコ組）は奇数ページが右になります。

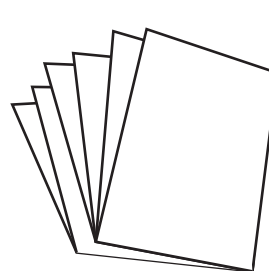
2 つ折り



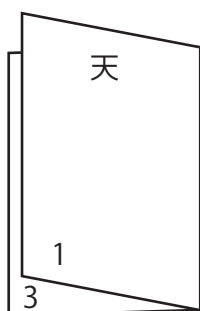
4 つ折り



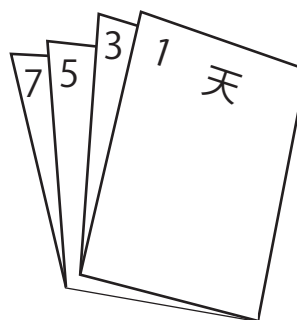
8 つ折り



2 つ折右開き 4P



4 つ折右開き 8P



天	天
1	4

表

天	天
3	2

裏

天	8	5	天
天	1	4	天

表

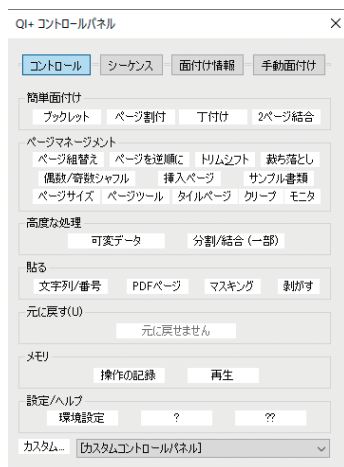
天	9	7	天
天	3	2	天

裏

実際にサンプルを利用して面付けを行います。

ここでは「4つ折右開き 8P 平綴じ」の面付けを行います。

Adobe Acrobat メニュー>プラグイン>QI+5>コントロールパネルを選択します。



QI + コントロールパネルが開きます。

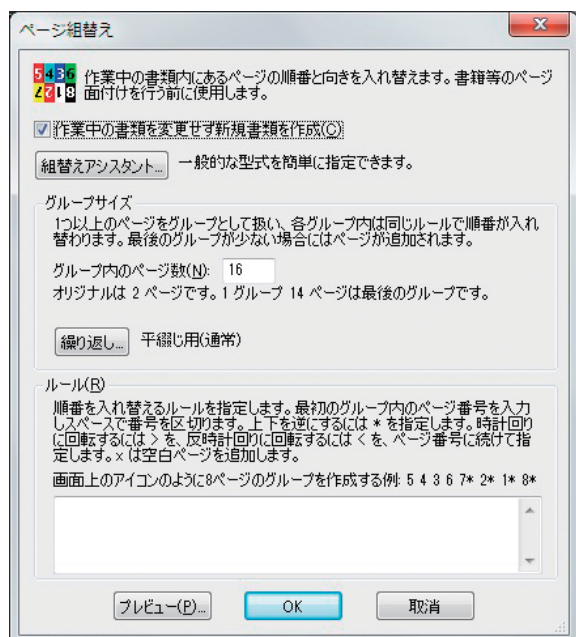
サンプル書類を選択します。



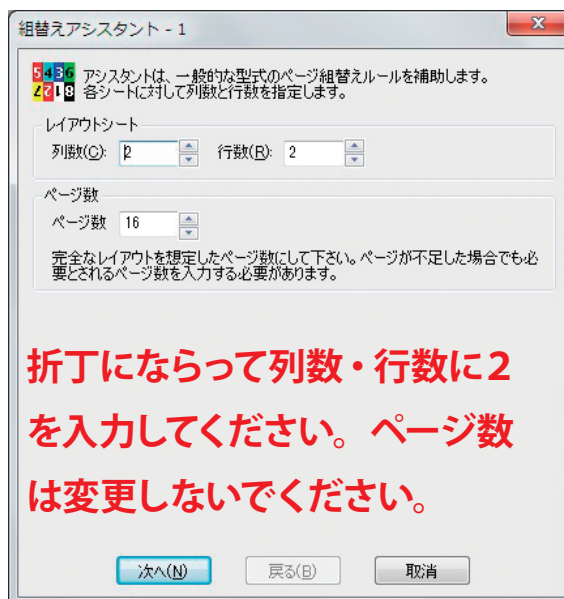
OK を選択することでサンプル PDF 書類が作成されます。

QI + コントロールパネルから「ページ組替え」を選択します。

ページ組替えウィンドウが開きます。



組替えアシスタントを選択します。



※「ページ数」は表裏の合計のページ数です。面付けを行いたい PDF のページ数が 4 もしくは 8 の倍数ではない場合は警告されます。

「次へ」を選択します。

組替えアシスタント - 2 が表示されます。

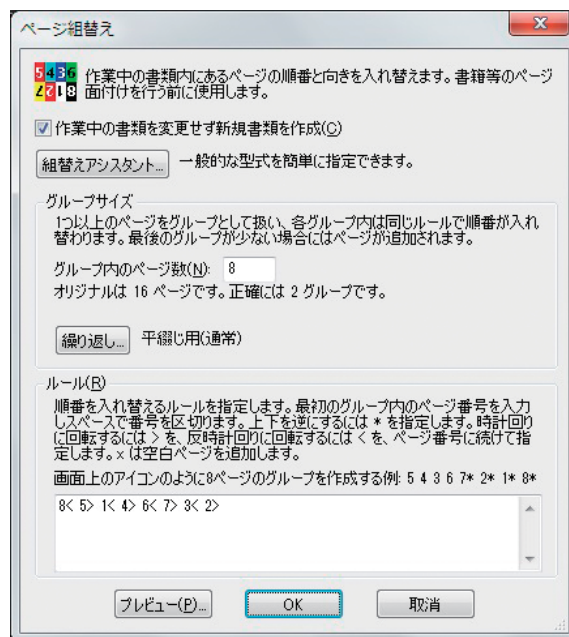


作成してある折丁から「表」の番号を入力します。(1 ページ目がある面が表です)
「ページを横向き」にチェックを入れます。
上下が逆になっているページは「180°」にチェックを入れます。

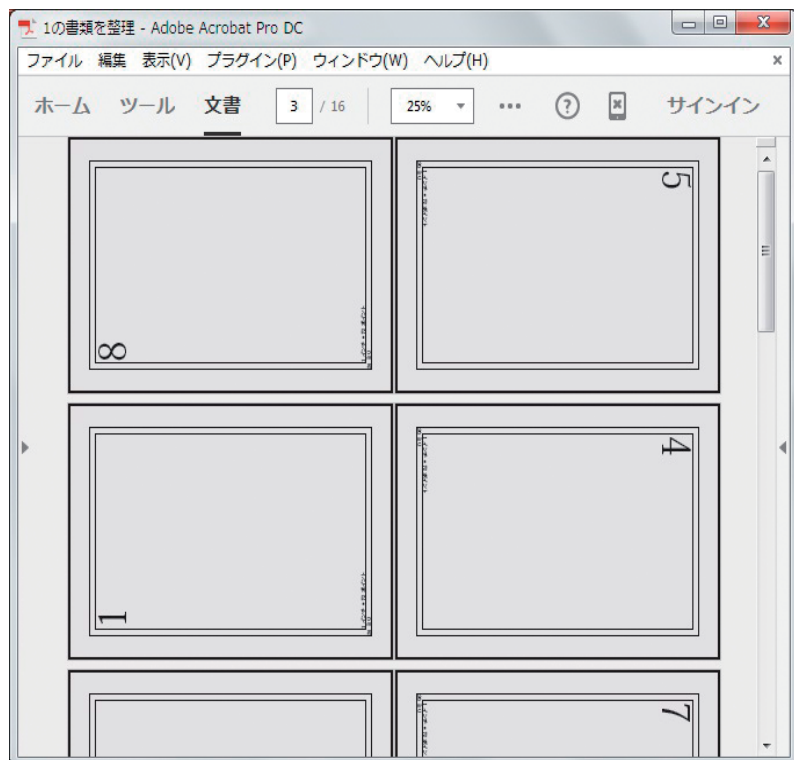
終了を選択すると、「ページ組替え」のウィンドウに戻ります。

グループサイズ「グループ内のページ数」は、表裏の合計ページ数で組替えアシスタントを使用した場合自動入力されます。

ルール部分に数字と記号が自動入力されます。



OK を選択します。

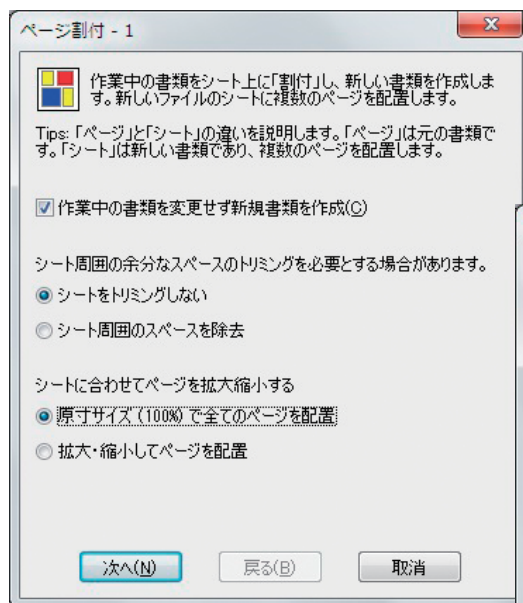


新しく PDF ファイルが作成されます。
ページの向きと順番が変わった PDF ファイルです。

整理された PDF ファイルを使用して、
割付を行います。

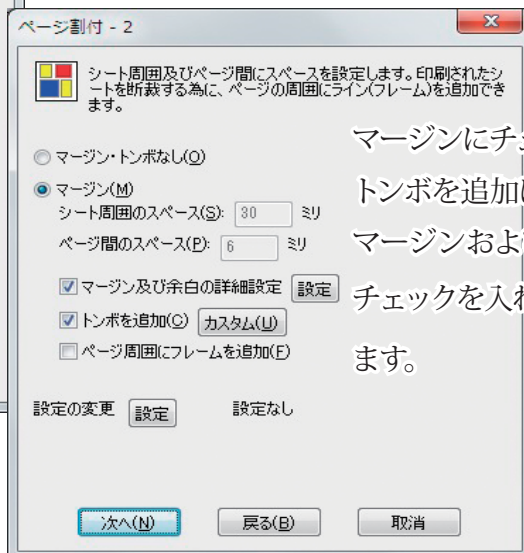
Q1 +コントロールパネルから「ページ割付」を選択します。

ページ割付－1 ウィンドウが開きます。



「シートをトリミングしない」と「いいえ、原寸（100%）で全てのページを配置」にチェックを入れます。

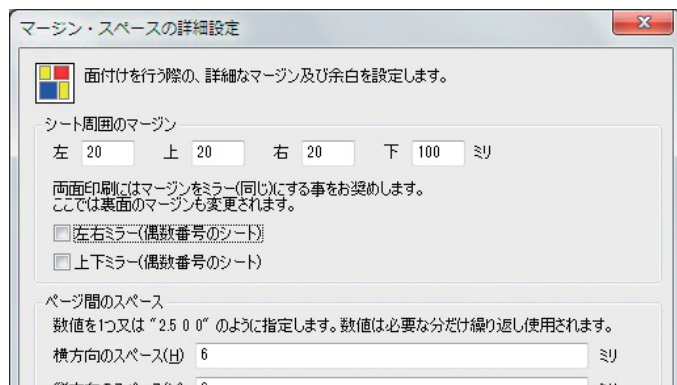
ページ割付－2 ウィンドウが開きます。



マージンにチェックを入れます。
トンボを追加にチェックを入れます。
マージンおよび余白の詳細設定にチェックを入れ、「設定」を選択します。

「次へ」を選択します。

「マージン・スペースの詳細設定」ウィンドウが開きます。

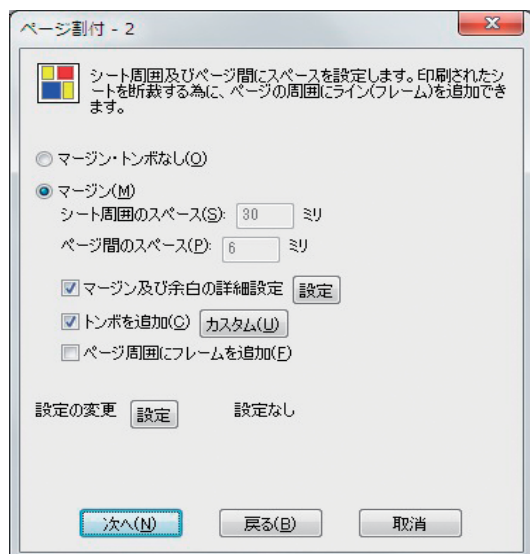


上下左右に各余白を入れます。左・上・右は20mm 下は 100mm 入れます。（下はくわえ）※くわえの位置は必ずしも下である必要はありません。

ページ間のスペース今回は縦横共に 6mm を入力します。

OK を選択します。

ページ割付－2 の画面に戻ります。

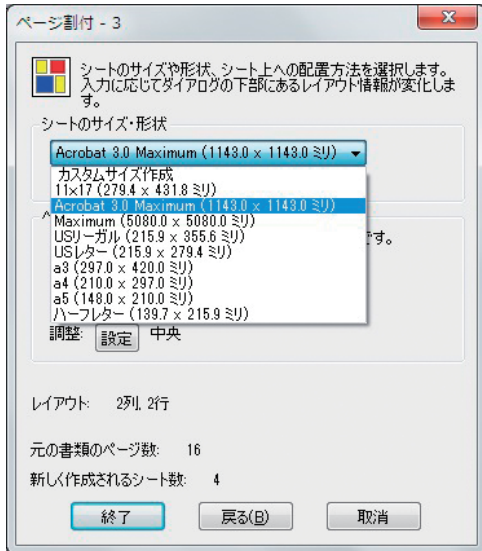


トンボを追加、「カスタム」を選ぶとトンボの形状・大きさ・太さを選択できます。

※トンボ形状は 5 種類から選択する形になります。

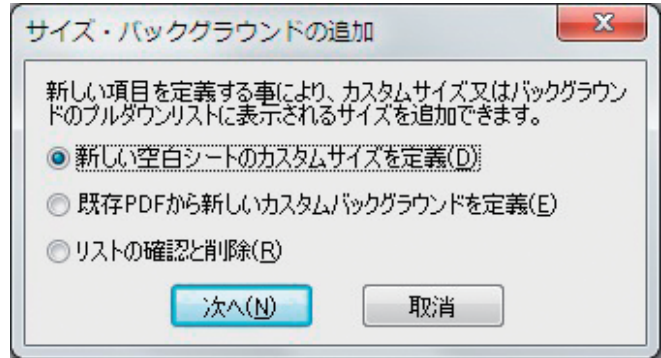
「次へ」を選択します。

ページ割付 - 3 ウィンドウが開きます。

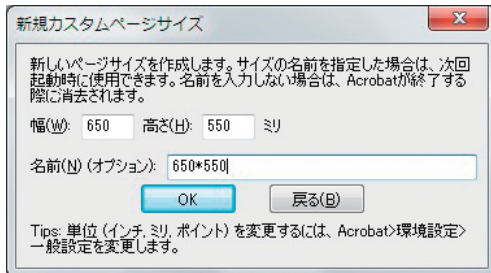


シートサイズ・形状の▼を選択する事で、シートサイズを選択できます。

カスタムサイズ作成を選びます。



空白のシートに対して新しいカスタムサイズを定義を選択します。



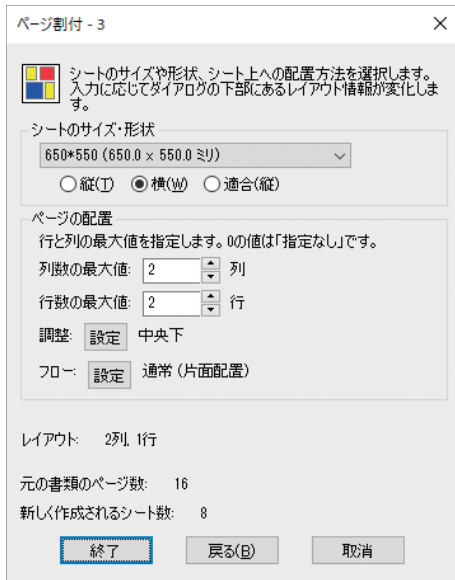
幅に 650、高さに 550 を入力します。

分かりやすい名前をつけてください。

OK を選択するとページ割付 - 3 に戻ります。

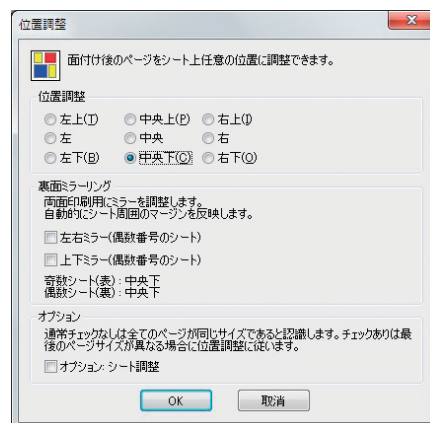
シートサイズは先ほど作成した 650 * 550 を選択してください。

折丁サンプルと同じになるように、列数 2、行数 2 と▼▲から選択します。



「調整」設定を選択します。

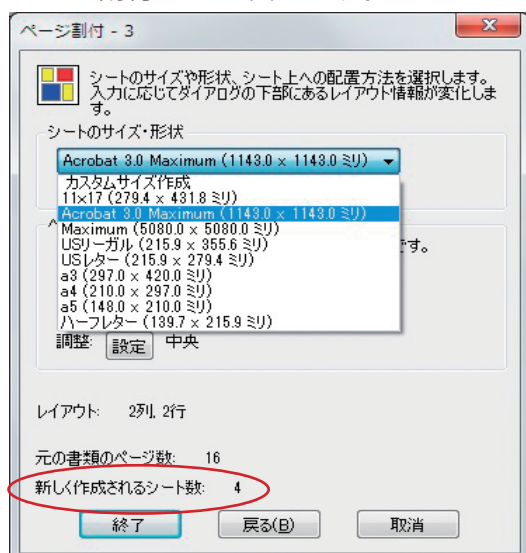
位置調整ウィンドウが開きます。



中央下を選択します。

「OK」を選択します。

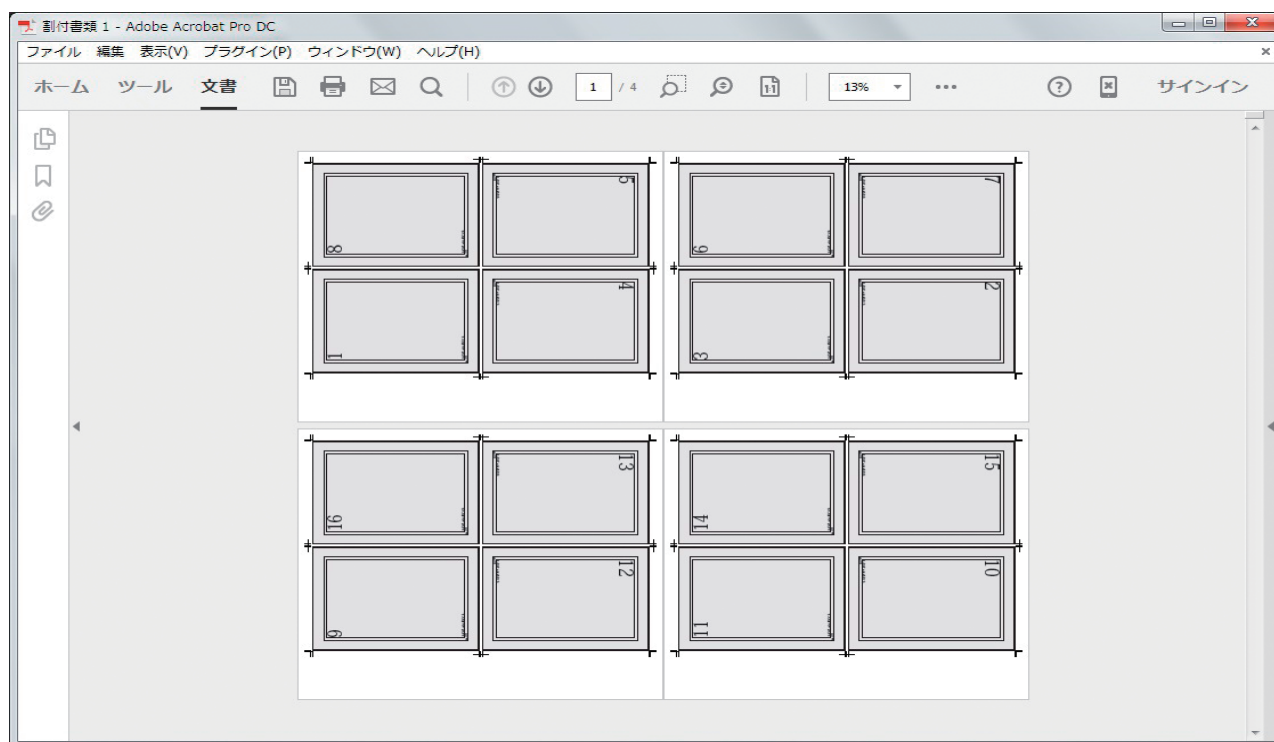
ページ割付 - 3 に戻ります。



※レイアウトが2列2行になっているかご確認ください。
シートサイズが小さかったり、余白のサイズが大きすぎる場合に、「新しく作成されるシート数」が8又は16になります。今回の場合「新しく作成されるシート数」は4になります。

終了を選択します。

「ページ組替えされたページが、左上から右方向へ順番に割付され、4ページの面付けされたPDFが作成されます。



シートサイズが版面サイズになります。今回の場合「シートの周囲のマージン」が下だけ100mmにしてあり、「位置調整ウィンドウ」で下基準から配置してありますのでシートの下から仕上がりまで（くわえ）が100mmになります。

自動処理

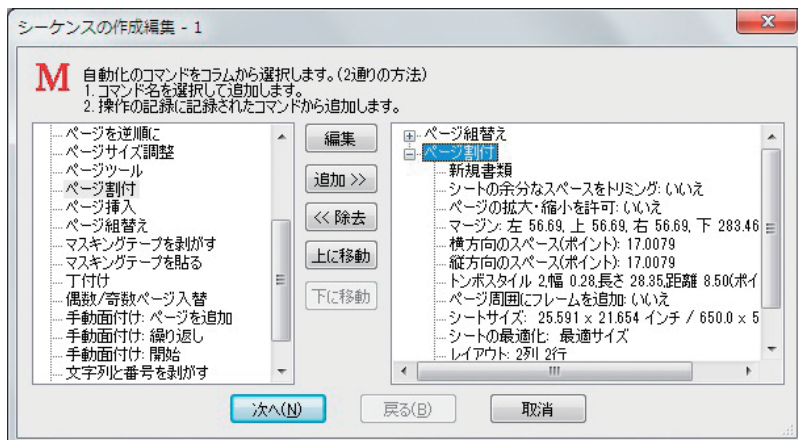
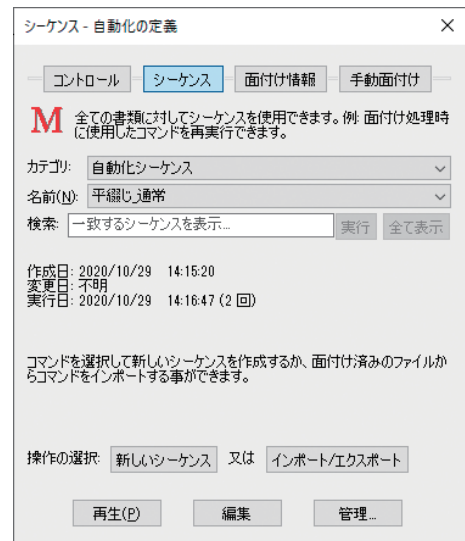
QI+5 では操作を自動化することが可能です。

まずサンプル書類を用意します。「ページ組替え」中で組替えアシスタントを使用する場合に必要になります。)

QI+5 コントロールパネルから「シーケンス」タブを選択します。

新しいシーケンスを選択します。

シーケンスの作成編集 - 1 画面が開きます。

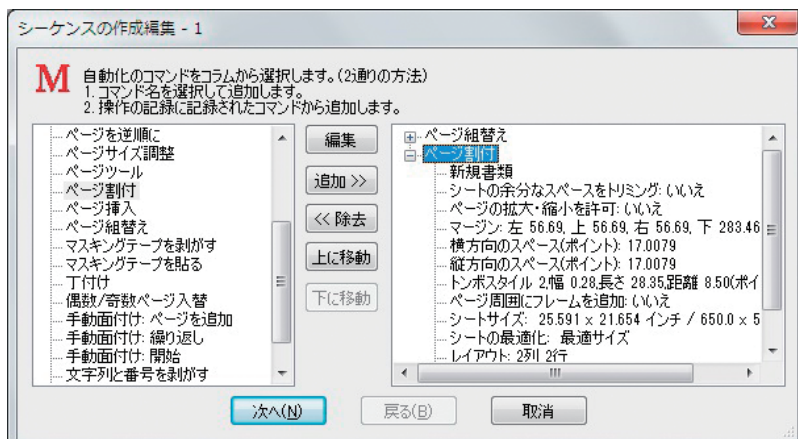
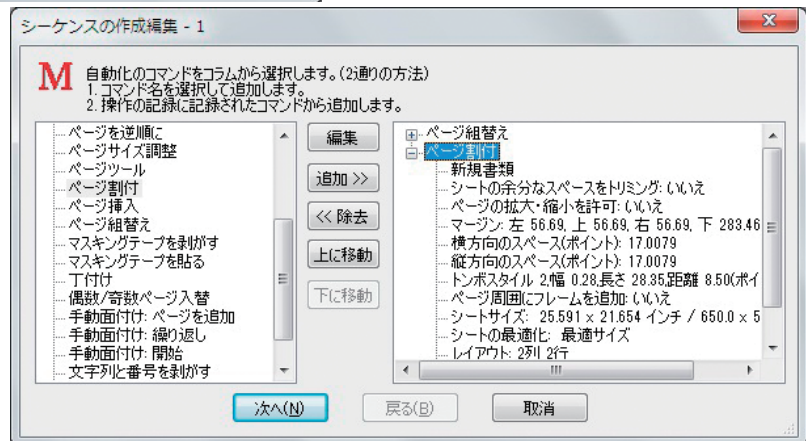


「ページの組替え」を選択し、「追加」を選択します。

「ページ組替え」ウィンドウが開きますので、組替えアシスタントを使用します。(ルールが分かっていたら直接入力しても構いません。)

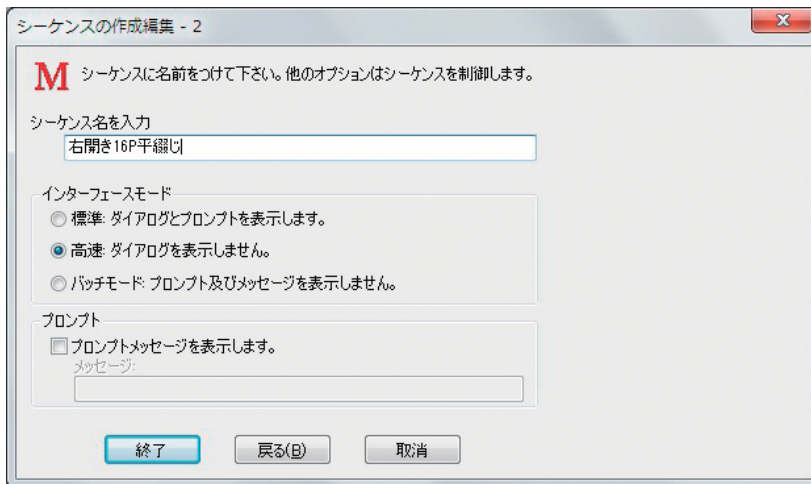
続けて「ページ割付」を選択し、「追加」を選択します。

ページ割付画面が開きますので、ここまでのサンプルで使用した設定をしてください。



次へを選択します。

シーケンスの作成編集 - 2 ウィンドウが開きます。



「終了」を選択します。

「インポート/エクスポート」を使用することで、簡単にシーケンスを作成する事もできます。

面付けが終わっている PDF ファイルを開きます。

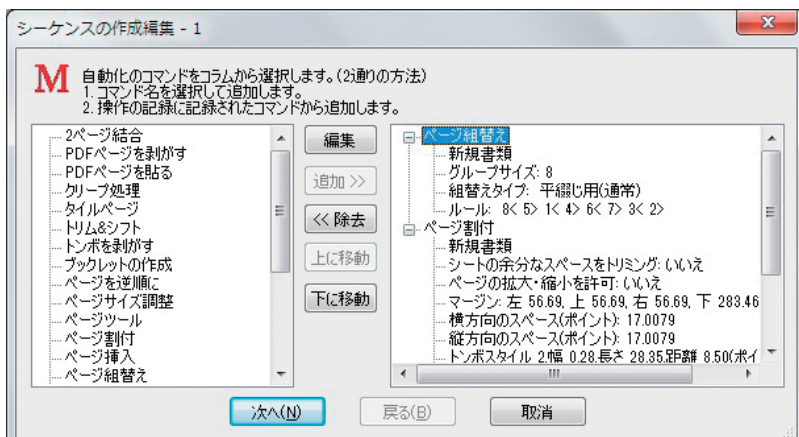
QI+5 コントロールパネル>シーケンス>「インポート/エクスポート」を選択します。

「アイテム名」ウィンドウが開きます。

インポートにチェックを入れます。

「現在の書類からコマンドをインポート」にチェックを入れます。

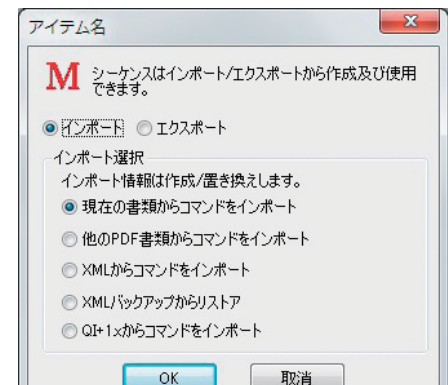
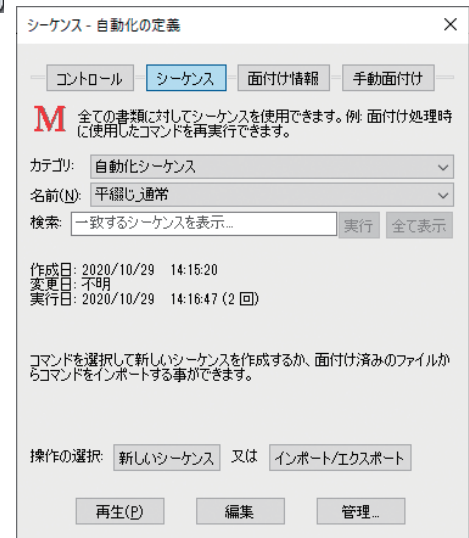
シーケンスの作成編集 - 1 画面が表示されます。



シーケンス名を入力します。後で分かりやすい名前をつけてください。

例えば、「右開き 16P 平綴じ」のように名前を入力します。

インターフェースモードは「高速」にチェックを入れます。

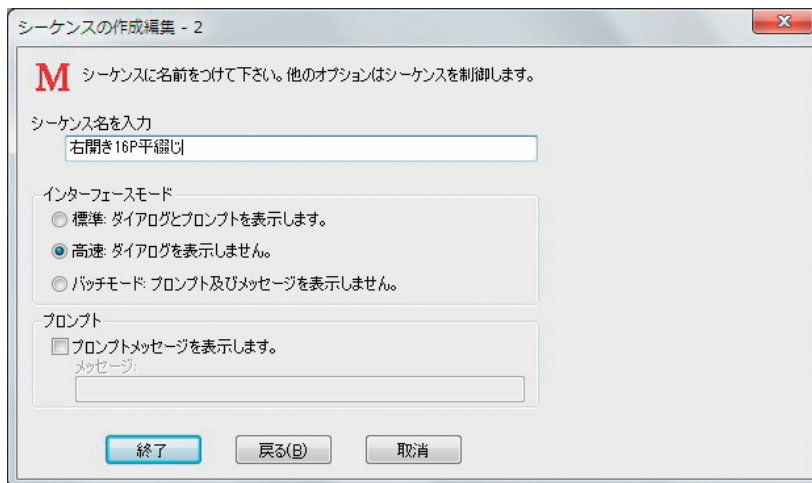


OK を選択します。

面付けに使用された、各コマンドが取り込まれます。

次へを選択します。

シーケンスの作成編集－2 ウィンドウが開きます。



シーケンス名を入力します。
後で分かりやすい名前をつけてください。
例えば、「右開き 16P 平綴じ」のように名前を入力します。
インターフェースモードは「高速」にチェックを入れます。

「終了」を選択します。

シーケンスを利用する

実際に面付けを行う PDF 書類を用意します。

QI+5 コントロールパネル>シーケンスを選択します。

使用する面付けパターンを「名前」から選びます。

「再生」を選択する事で、面付けを自動で行う事ができます。

可変データ

可変データは、CSVなどのテキストファイルを読み取り、その可変情報を対象のPDFに追加します。

テキスト情報は、「文字列 / 番号を貼る」機能のように追加され、画像は、貼りつける画像PDFをCSVに記述されたページ番号によって、そのページ順にある画像を貼りつけます。

このテキストファイルを、「データソース」と呼びます。

可変データ結合は、次の2つの方法いずれかで使用します。

・「マスター書類」がある場合：マスターPDFは都度コピーされ、データソースの可変テキストまたは画像を貼りつけます。

繰り返して使用するPDFを「マスター」と呼びます。

これは、Microsoft Word® や Adobe InDesign® などのデータ結合 / 差し込み印刷機能と類似しています。

・「マスターではありません」：既存のページにレコードを追加します。

この書類は複製されず、各ページにデータソースを使用した情報を追加します。

これは、「文字列 / 番号」の貼りつけ、「PDF ページ」の貼りつけに似ていますが、書類の各ページ（またはページの各グループ）に異なるテキストまたは画像を貼りつけます。

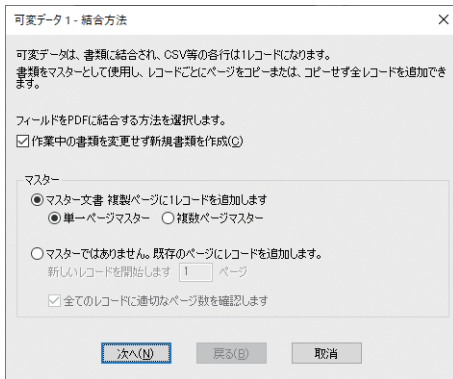
可変データサンプル

製品名	特徴	価格	画像
EHD-MST14050LM	立ち作業や小規模ミーティングデスクに最適なスタンディングデスク。	¥38,280	1
ALD-14070N	オフィス環境に柔軟に対応。	¥108,900	2
ERD-MTGN180120W	電動昇降で素早く立ち座りの姿勢を取れるミーティングデスク。	¥338,800	3
ERD-HL12070	耐荷重 200kg 工場などでの作業台に最適な電動上下昇降作業台。	¥440,000	4

※書き出しするエンコードは UTF-8(unicode) で書き出します。

例 Microsoft Excel から CSV 書き出しを行う場合、2019 以降のバージョンでは「CSV UTF-8」を書き出すことができます。それ以前のバージョンでは、一旦 CSV へ書き出し、「メモ帳」などで文字コードを UTF-8 に変更して使用します。

コントロールパネル>可変データを選択します。



初めにマスター書類の有無を選択します。

マスター書類がある場合：通常1ページですが、シートの表裏など複数ページの場合があります。

書類全体に繰り返して同じマスターを使用します。

「単一ページマスター」を選択した場合、現在の書類は1ページである必要があります。

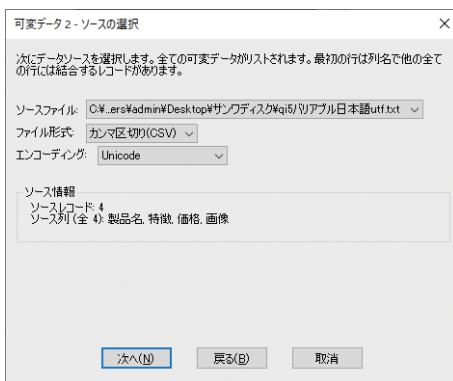
「複数ページマスター」を選択した場合、現在の書類は複数ページ（表裏など）になります。

「マスターではありません」を選択した場合、現在の書類に

対し、各レコードを使用するページ数を選択する必要があります。

通常値は1です。

「全てのレコードに適切なページ数を確認します」のチェックは、テキストの行数とPDFページ数が一致しない場合エラーになります。



次に、ソースファイルを選択します。(▽からブラウザ)

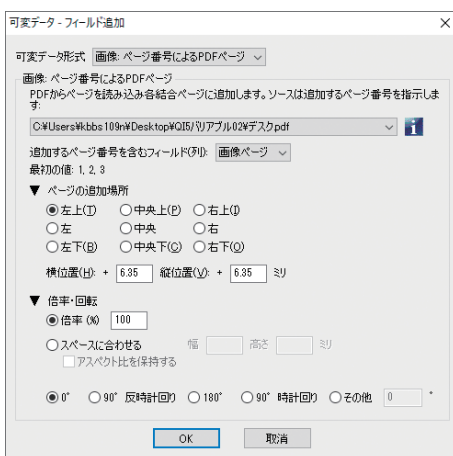
※使用するファイル形式を選択し、エンコーディングは「Unicode」を選択してください。

次に、テキスト情報を書類に追加するフィールドを選択します。

※最低限1つ以上の「フィールド」を追加する必要があります。

テキスト用のフィールドでは、フォントの種類、サイズ、位置、色などを選択します。

複数のテキストを一緒に追加するには、以下のテキストブロックを参照してください。



※画像用のフィールドでは、追加する画像だけのPDFページを単一ファイルとして準備する必要があります。(切り抜き画像はクリッピングパス保存)

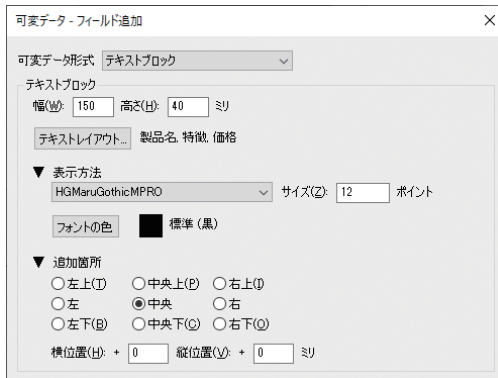
可変データ形式から「画像」を選択すると、PDFファイルを選択するウィンドウが表示されます。

「ブラウザ」から配置するPDFファイルを選択します。

「追加するページ番号を含むフィールドを(列)」を選択します。

レイアウト位置を選択します。

テキスト情報には、追加するページ番号を記載しておきます。



テキストブロック

テキストブロックは、可変データの便利な機能です。宛名ラベルなどのテキストブロックを作成できます。

- ブロック内のレコード表示をプレビューします。
- 「同行」は列を1行に結合します。
- 「空白の間をつめる」機能は、行が空白になる場合に、空白行を上部に詰めます
- テキストを直接入力できます。

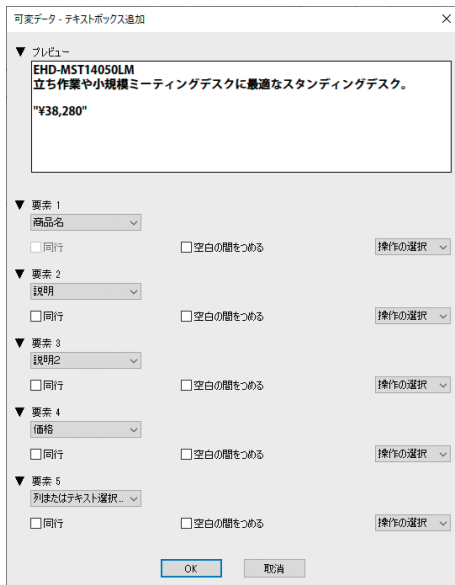
「テキストブロックの追加」

可変データ・フィールド追加画面で、テキストブロックのサイズを入力します。

ターゲットとなる現在のページには、ブロックを配置する場所に対して赤い枠を表示します。

配置する位置を指定し、フォントとサイズを選択します。

次に、テキストレイアウトをクリックします。



テキストブロックには、必要な数の要素があり、「テキスト追加」を選択することで任意のテキストを入力できます。

必要に応じて列を調整します。

- 不要な要素を削除するには、右側の「操作の選択」から「削除」を選択します。
- 要素1の例 ここでは「製品名」
- 要素2の例 ここでは「特長」
- 要素3の例 ここでは「価格」をそれぞれ選択します。

プレビュー表示が更新されます。

複数のテキストブロックを作成し、画像フィールドと混在させることもできます。

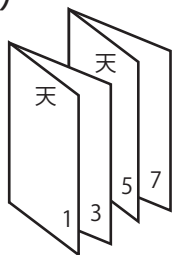


その他の機能は Readme・QI+5 スタートガイド及びオンラインガイドをお読みください。

QI + 5 コントロールパネルから「?」を選択すると

Readme・スタートガイド・オンラインガイドを参照できます。

代表的な面付けパターン(平綴じ)



2つ折右開き 4P

①

天	天	天	天
1	4	3	2
表		裏	

2つ折左開き 4P

②

天	天	天	天
4	1	2	3
表		裏	

③ 4つ折右開き 8P

天	8	5	天	天	9	7	天
天	1	4	天	天	3	2	天
表				裏			

④ 4つ折左開き 8P

8	天	天	5	6	天	天	7
1	天	天	4	3	天	天	2
表				裏			

⑤ 8つ折右開き 16P

表

天	天	天	天
5	12	9	8
4	13	16	1
天	天	天	天

⑥ 8つ折左開き 16P

表

5	12	9	8
天	天	天	天
4	13	16	1

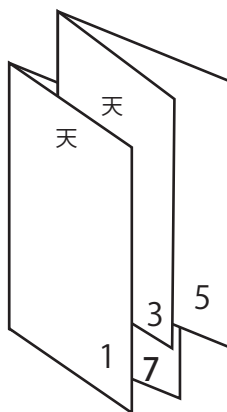
裏

天	天	天	天
7	10	11	6
2	15	14	3
天	天	天	天

裏

7	10	11	6
天	天	天	天
2	15	14	3

代表的な面付けパターン(中綴じ)



2つ折右開き 4P

2つ折左開き 4P

⑦	天	天	⑧	天	天
	1	4		4	1
	表	裏		表	裏

⑨	天	4	1	天	⑩	天	天	⑩	天	天
	天	5	8	天		天	2		天	天
	表	裏	表	裏		表	裏		表	裏